

別紙1（書評合戦（ビブリオバトル）の進め方）

書評合戦（ビブリオバトル）の進め方

【書評合戦（ビブリオバトル）のルール】

- ① 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表の後に、参加者全員で、その発表に関するディスカッション（質疑等）を2～3分間行う。
- ④ 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

*ビブリオバトルは、立命館大学 谷口忠大 准教授によって考案されたものであり、上記ルールは、ビブリオバトル普及委員会の公式ルールである。

1 本の選定について

発表者が選ぶ本のジャンルは問わない。あくまで、発表者自身が、聴衆者に紹介したいと思うお気に入りの本を選んで持参する。

2 発表方法について

発表者は、与えられた5分間の中で、自分の好きなタイミングで、持参した本のタイトルを聴衆者に提示することができる。それゆえ、発表者が登壇する際、司会は、発表者が持参した本のタイトルを紹介しない。発表者は、事前に何を話すか等をまとめておくことは必要だが、生き生きとした発表を行うよう心掛け、事前に用意した原稿やレジュメ等をひたすら読む等のプレゼンテーションは行わない。

3 司会及び時間の計測方法について

- (1) 会場には、全体の進行を行う司会、発表者の発表時間5分間及びディスカッション（質疑等）2～3分間を計測するタイムキーパーの2名を配置する。司会及びタイムキーパーは、教員、生徒の誰が行っても良い。
- (2) ノートパソコン等にタイマープログラムをインストールして残余の時間を表示する。大きな会場で実施する場合は、プロジェクタ等を用いて残余の時間を表示する。
なお、パソコンやプロジェクタを用意できない場合は、画用紙に残余の時間の目安となる「残り時間5分、4分、3分、2分、1分、30秒、15秒等」を書いて発表者及び聴衆者に知らせることも可能である。
- (3) 発表者の5分間及びディスカッションの2～3分間が経過したらベルを鳴らし、そこで全ての活動をストップさせる。

4 ディスカッションの方法について

発表者の5分間の本の紹介が終了したら、参加者全員（発表者以外の他の発表者及び聴衆者）が挙手により、発表者に質問をする。例えば、「なぜその本を選んだのですか？」「その本のどの部分が一番心に残っていますか？」「その本は映画化されていますが、映画で見たことはありますか？」「映画で見た時と本を読んだ時とどこか違いがありましたか？」等が考えられる。それらの質問に発表者が答える。

5 投票（挙手による）の方法について

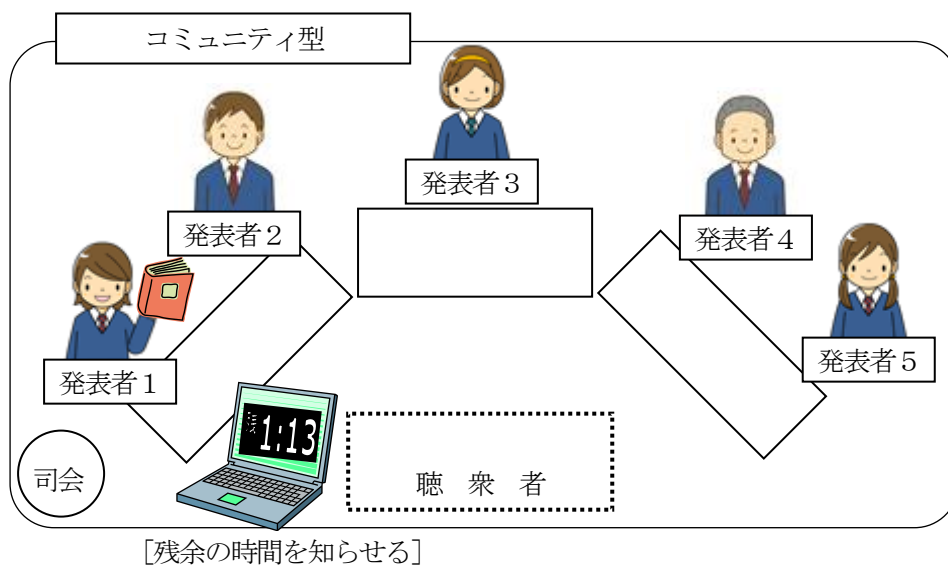
発表者も、自分以外の発表者の中で読みたくなった本に挙手をする。発表者の人気投票ではなく、あくまでも、どの本が読みたくなったかを基準に、参加者全員が挙手をしてチャンプ本を決定する。なお、同数の票によりチャンプ本を選ぶことができない場合は、「同率チャンプ本とする。」又は、「決選投票をしてチャンプ本を決める。」のどちらでもよい。

6 校内予選の形態

各学校の生徒の実態に合った方法で校内予選を実施する。

(1) コミュニティ型（少人数で行う形態）

- ・発表者5名、聴衆者5名前後のグループ10名程度
- ・図書委員会、文芸部、校内有志等により実施
- ・会場を図書館や教室等に設定



(2) イベント型（大人数で行う形態）

- ・発表者は各クラスの代表者、聴衆者は該当学年の全生徒
- ・特別活動に位置付けて学年全体により実施
- ・会場を体育館や講堂に設定

